

『颯々』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

(1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。

(2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

夏休みのわくわく体験特集

はじめてのものづくりに興味津々!!

富士北稜高校 親子カルチャー教室



富士北稜高等学校(羽田孝行校長)と南都留地域教育推進連絡協議会(白井明彦会長)は、7月21日(土)に第16回「親子カルチャー教室」を開催しました。今年は「親子でクッキング～おやつをつくろう」「3Dキューブでイルミネーションをつくろう」「鋳物で表札をつくろう」の3つの講座に児童・保護者合わせて26組52名が参加しました。

当日は31名の高校生がミニ先生となって小学生を指導。ミニ先生の親切で丁寧な教え方に、参加者は親子で楽しむ「ものづくり」に熱中できたようです。各講座の最後には、参加児童に終了証が渡され、完成した作品を手にした子どもたちの表情は達成感にあふれていました。

参加した児童や保護者からは、「ミニ先生が優しく教えてくれたり、アドバイスなどを言ってくれたり、すごく楽しかった。また、来たいと思いました。」「とても楽しい教室に参加できて良かったです。家では『ものづくり』を、なかなかできないので、良い体験ができました。子どもには、今後の生活に活かして欲しいです。」などの感想が寄せられ、大変好評でした。



ものづくりのおもしろさを体感!!

都留興讓館高校 親子ものづくり教室



都留興讓館高校(中山真男校長)と南都留地域教育推進連絡協議会(白井明彦会長)は、8月11日(土)山の日(土)に第15回「親子ものづくり教室」を開催しました。

今年度は、「燃料電池カーの製作」「電子制御ロボカーの製作」「メタルプレートの製作」「透明樹脂を用いたアクセサリーの製作及び電子顕微鏡観察体験」の4つの講座に児童・保護者合わせて17組34名が参加しました。また、16名の高校生がミニ先生となって小学生を指導しました。ミニ先生の親切で丁寧な説明とアドバイスを受けながら、子どもたちは、初めて使う工具に戸惑いつつも『ものづくり』の楽しさに目を輝かせていました。

参加した小学生や保護者からは、「はんだ付けが、とても楽しかったです。お姉さんの教え方が上手だったので間違いなくできました。とても楽しい一日でした。」「家族とできて楽しかったです。また、参加したいと思います。」「普段の生活では、触ることのない機械を扱うことができ親子で楽しめました。来年も参加したいと思います。」などの感想が寄せられました。『ものづくり』の面白さを体感できた貴重な一日となりました。



ワクドキちゃれんじ!!

産業技術短期大学校 小学生ものづくりフェスタ



県立産業技術短期大学校(守屋守校長)は、8月19日(日)に都留キャンパスにおいて「小学生ものづくりフェスタ」を開催しました。

今年は、「すもうロボットでのこったのこった!」「フルカラーLEDランプをつくってみよう!」「たくさんのシャボン玉を作ってみよう!」「金属加工にトライ!ペーパーウェイトをつくろう」「心の不思議 錯覚の世界へようこそ」の5つのコースに約100名を超える児童・保護者が参加しました。

当日は、同校教職員学生・都留文科大学教職員学生・都留市役所職員、のびのび興讓館都留少年少女発明クラブ指導者等、多くの講師による指導で「ものづくり」を楽しむとともに、親子のコミュニケーションも深まりました。子どもたちは、難しい作業は助けを得ながら、みんな素晴らしい作品を仕上げました。参加した小学生や保護者からは、「普段体験できない金属加工をやってみる事が出来て良かったです。もの作りの大変さが分かりました。」「親子で楽しい時間を過ごすことができました。」などの感想が寄せられました。普段は、なかなか体験できない各コースを楽しみ、とても充実した一日となりました。



仲間と一緒にコミュニケーションしながら本を読もう！！

上野原高校 「チャレンジ！上高アニメーション」



上野原高等学校(小川弘一校長)と北都留地域教育推進連絡協議会(石井由己雄会長)は、8月3日(金)に「チャレンジ！上高アニメーション」を開催しました。今年度は、午前の上野原市立図書館会議室において、上野原市内中学生10名、上野原高校図書委員の生徒6名、学校関係者等、合わせて24名が参加しました。午後は、大月市立図書館会議室において、大月市内中学生4名、上野原高校図書委員の生徒8名、学校関係者等、合わせて18名が参加しました。

上野原高校は、図書委員会を中心に、「他の人の意見を聞き、自分とは違うものの見方や考え方を発見し、思考力や判断力、問題解決能力を身につける」ことを目的に、「読書へのアニメーション」に取り組んでいます。

当日は、まず「アイスブレイク」で参加者同士の親睦を図った後、自己紹介を行いました。参加者は事前に配付されたテキストを読んでおき、進行役である「アニメードール」により会が和やかな雰囲気の中、進められました。まず、作品の一節が書かれたプリントが参加者にランダムに配付され、内容が全て作品と同じ順番になるように、前後の文脈を推理して、周りとは相談しながら正しく並び替えをします。最後にアニメードールはその順番が正しく並べられたかどうかを告げます。皆、楽しみながら取り組んでいました。次に、参加者全員が登場人物役やギャラリー役になり、アニメードールの司会で質疑応答をします。登場人物の気持ちになって答えるといっても、正解は1つではありません。セリフや情景描写から人物の心情を想像し、テーマについて話し合うことで思考力が育てられます。また、他者の意見に触れることで多角的な読みが可能になります。

参加した中学生からは、「他校の人とも交流を持つことができ楽しかった。」「本には書かれていない奥の気持ちが、コミュニケーションを通してわかった。」「などの感想が聞かれ有意義な時間を過ごしました。



富士山麓の大自然の中で、小中学生の交流深まる

南都留地区ジュニアリーダー合同キャンプ 2018



8月6日(月)、7日(火)の2日間にわたり、国立中央青少年交流の家にて、南都留管内の小中学生を対象にした「ジュニアリーダー合同キャンプ 2018(主催管内8市町村教育委員会・富士東部教育事務所)」が開催されました。富士山の裾野に広がる大自然の中で参加者総勢44人がキャンプ体験に臨みました。2日間の内容は、各関係団体にご協力いただき、学校では学ぶことのできない体験活動を中心に構成しました。

1日目は、「アイスブレイク」で仲間との親睦を図ったあと、リズムオブラブの渡辺光美先生による「健康安全体験型プログラム」を行いました。体を動かしながら仲間意識を高め、相互理解を深め、安全意識や危険回避能力の向上を図りました。また夕食に向けて班ごとに飯盒炊さんに取り組み、初めて会った仲間と楽しく会食をしました。2日目は、山梨県建築士会の協力のもと、「新聞紙エアドームづくり」に挑戦しました。子どもたちは仲間と試行錯誤しながら新聞紙を貼り合わせ、大きなエアドームを完成させました。活動を通して、みんなでものをつくる楽しさを体験することができました。



小学生個々の自律と中学生のリーダーシップのもと、豊かな体験活動を通して仲間との交流が深まるとともに、相手を思いやる気持ちが育まれた2日間となりました。

国際理解教育での小高連携 !!

旭小学校

都留興讓館高校英語出前授業



旭小学校（浅川早苗校長）が、7月11日（水）19日（木）に都留興讓館高校（中山真男校長）による英語出前授業を実施しました。

この連携事業の目的は、旭小学校の『国際理解教育』として、英語に触れる活動を通じて、英語を聞いたり、話したりすることに興味・関心を持ち、英語でのコミュニケーションを図ろうとする態度を培う機会としています。また、都留興讓館高校は平成26年度より『英語教育地域拠点事業』の一環として、都留市英語力養成CAN-DOリストをもとに「ゆるやか

な接続」を継続し地域全体の英語力向上を目指しています。

19日（木）は、都留興讓館高校の英語教員・ALT・生徒2名が講師となり、5・6年生と3・4年生を対象にすべて英語による授業が行われました。まず、講師が日付・天気・歌でのゲームをパワーポイント使って丁寧に説明し、児童たちは、説明に合わせて大きな声で暗唱していました。次に、日常生活で使う英語を小グループに分かれ、お互いに英語で積極的にコミュニケーションをとっていました。

参加した児童からは、「たくさん英語の先生や友だちと話が出来た。パワーポイントが分かりやすかった。」「教え方が分かりやすく良かった。先生たちが楽しかった。」との感想がありました。次回の英語出前授業は12月に実施されます。



保小連携 保育所が1年生を招待!!

平野保育所

『わんぱく祭り』



山中湖村の平野保育所（渡辺一美所長）は『わんぱく祭り』を7月24日（火）に開催しました。10年ほど前から保小連携を目的に東小学校（小宮山尚校長）の1年生を招待しています。

当日は、1年生の自己紹介後に、全員でアンパンマン音頭を踊ったり、ショーを見たり、とても和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で、熱心に取り組んでいました。

その後、参加者は職員や保護者が準備した、かき氷・ヨーヨー・ゲームコーナーなど色々なお店やイベントを楽しみました。

今回の体験を通して、園児は、卒園したお兄さんやお姉さんに会える喜びを感じていました。また、年長児にとっては小学校への憧れと期待が膨らみました。1年生は学校のことを話したり、交流をしたりすることで入学から今までの成長を実感することができ、先生方も1年生が来園することで卒園児の成長した姿を見ることができました。今後も様々な面で、学びの連続を意識した保小連携が行われていきます。



異世代交流 !!

『都留高校』と『ことぶき勸学院北都留教室』 パソコン学習



ことぶき勸学院北都留教室は、7月27日（金）に都留高校（渡邊信介校長）において「つながりを創る『若者との交流』～パソコンの使い方を学ぶ～」を開講しました。はじめの会では、勸学院の学級紹介とお願いの言葉の後、講師役の生徒が自己紹介をしました。実技指導は、「都留高探究プロジェクト（つる探）」で数学・情報系の研究に取り組んでいる1・2年生18名が講師となり、初級（暑中見舞いのハガキ作成）・中級（チラシの作成）・上級（パワーポイントでのスライド作成）の3つのグループに分かれ、各

生徒が操作を補助しながら進められました。

参加した勸学院生は、生徒たちの親切で丁寧な説明により、パソコン操作を楽しんでいました。また、勸学院生の皆さんの旺盛な向学心とコミュニケーション力の高さに高校生も刺激を受け多くのことを学びました。

昨年度から始まったこの講座では、パソコンを通じて異世代との貴重な交流ができました。都留高校・ことぶき勸学院北都留教室ともに、今後も様々な形で交流を継続し、充実させていきます。



地域交流 !!

大月市商工会『商店街探索ツアー まちゼミ』



8月9日（木）、大月市商工会（天野太文会長）が「夏休み・商店街探索ツアー（まちゼミ）」を開催しました。

『まちゼミ』とは、商店街の店主が講師となり「プロ」ならではの専門的知識や情報、コツを無料で受講者（お客様）にお伝えする少人数制のゼミです。お店の存在・専門店の素晴らしさを知って頂くと共に、

消費者（お客様）の方々に得する情報を提供するというセミナーになります。

大月市での『まちゼミ』は、今年で4回目の開催となります。今年は、大月商店街の中から、大月市観光協会・濱野屋・カメラのいとう・米屋時計店・文字工房みのた・アトリエだいき堂・中込精肉店の7講座が実施されました。講座では、各店舗の紹介・業務内容・各店のこだわりや店主のノウハウなど、参加した子どもたちに丁寧に分かりやすく説明されていました。子どもたちも、熱心に耳を傾け、積極的に質問をして、講座を楽しんでいました。

参加者からは、「今日は、大月のまちが良くわかりました。これからは、もっと大月のまちを知りたくなりました。」という感想がありました。普段、体験できない講座を通して、商店街を身近な存在として感じることができ、『まち』への興味関心が高まったようです。



第36回 吉田空襲展

～伝えよう戦争 つなげよう平和～

富士を仰ぐ平和な吉田の空に、かつて戦うための飛行機が飛び、多くの人が苦しみ、そして亡くなりました。今を生きる私たちは、そのことを忘れず、伝えていかななくてはなりません。

吉田空襲の事実とともに、地域から日本、世界へと目を向け、現代社会の平和への課題について児童生徒・地域に広め、平和実践の交流の場とすることを目的に、第36回吉田空襲展が7月27日(金)から29日(日)の3日間、富士吉田市民会館で開催されました。

「吉田空襲のパネル」「戦時中の遺品」「小中学生の作品と平和ポスター」「特別支援学校の展示」「忠霊塔に関する展示」「日本各地の平和関連施設紹介」「現在の世界情勢」などの展示のほか、「吉田空襲フィールドワーク」「戦時食のふるまい」「高校生による読み聞かせと親子映画会」「ことぶき勸学院のみなさんとのふれあい&昔の遊びコーナー」などの企画が行われました。また、スライドと映像で学ぶ「吉田空襲を学ぶ会」も開催されました。

吉田空襲体験者の宮沢和雄さんと舟久保寛さんのお二人の話を映像で見て、戦争を体験した方の平和への思いを学びました。

悪天候の中、3日間で約1900名の児童・生徒や保護者が来場。戦争に学び、平和の尊さについて考えることができた空襲展でした。



「ものづくり」の楽しさを体験!!

ひばりが丘高校 創作授業公開



ひばりが丘高等学校(松野正士校長)の「授業公開」が7月12日(木)に実施されました。今回は昼間部・夜間部ともに、年次ごとのテーマにもとづいた、「ものづくり」を行う創作授業の公開でした。地域の外部講師の指導により、「切り絵」「絵画」「絵手紙」「本づくり」「刻字」「陶芸」「革細工」「折紙」「卒業制作(木工)」の各講座が開講されました。

卒業制作(木工)では、卒業生17名が12日から18日の4日間に渡り、厚生労働省の「ものづくりマイスター」に認定された講師の指導を受け、本棚を5個製作しました。完成した本棚は、県教育祭文化作品展に出品した後、昨年に続き市内の小中学校に贈られます。

生徒の皆さんは、教員や講師の指導のもと、とても楽しく作業に取り組み、作品が完成したときは、どの生徒も達成感を感じているようでした。苦勞して創った作品は、個性的で感性豊かな作品に仕上がっていました。



【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841